

今までの申請書と記入例

④ 生産方式の合理化に関する目標	作目・部門別	現 状	目 標（5年後）	
	合理化の方向	例	・品目毎に現在の栽培方法による課題等を記入する。	・課題を解決して目標とする成果等を記入する。
		ジュンギク、キャベツ	・連作障害で収量が不安定。	・地力増進で安定した収量の確保
		水 稲	・普通栽培が主体で一部赤トンボAを栽培している。	・赤トンボの栽培を50%に拡大する。 ・直販・宅配の拡大に取り組む。
⑤ 経営管理の合理化に関する目標	現 状	目 標（5年後）		
⑥ 農業従事の態様等の改善に関する目標	現 状	目 標（5年後）		
⑦ 目標を達成するための措置	経営改善の目標	措 置		
	農業経営の規模の拡大に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大を達成するための方法を記入する。 例：本邦定制度を利用し、農業委員会への申出・斡旋を利用し条件の良い農地を借地。 ・補助事業を活用してハウスを増設する。 ・ハウスの利用を年5回から6回にする。 		
	生産方式の合理化に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生産のムダを省き、合理化を達成するための方法を記入する。 例：国の補助事業と融資金を活用してジュンギクの播種機を導入する。 ・良質の有機肥料を投入して土壌改良を図る。 ・有機資材の多用と栽培管理の徹底により水稲の病害虫を予防する。 ・優良品種の導入 		
	経営管理の合理化に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト管理を強化し、経営管理の合理化を達成するための措置を記入する。 例：長男がパソコンや農業簿記研修会等に参加して操作技術を修得するとともに、経営管理部門の役割を分担させる。 ・青色申告の実施。 ・パソコン導入による経営管理の簡素化及び合理化の実施。 		
	農業従事の態様等の改善に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・労働時間を少なくし、休日制を導入するための方法を記入する。 例：臨時雇用を活用し、無理のない農作業で、定期的な農休日を設定するとともに労働時間を短縮する。 ・年間を通じての常用雇用の確保。 ・農繁期や収穫・出荷時におけるパート臨時雇用の確保。 		

新しい申請書と記入例

③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置	④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置
<p>現在の栽培上の課題と対策や生産の無駄を省く方法等を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設野菜が連作障害で収量が不安定、良質の有機肥料による地力増進で安定した収量の確保を図る ・現在一部栽培している赤トンボの割合を、50%に拡大するとともに直販・宅配を実施する。 ・乳産料に個体差があり乳量も少ない、牛個体毎の状況を把握し産乳量の均一化とともに乳量増を図る ・補助事業を活用し、ハウス（畜舎）を増設する ・農地の集積・集約化を進める 	<p>簿記帳簿、経営内役割分担の課題と対策やコスト管理の強化方法等を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単式簿記で経営状況の把握が不十分、複式簿記を導入し経営分析を実施 ・J A記帳代行を活用し、青色申告を行う ・パソコン導入による経営管理の簡素化及び合理化の実施 ・複式簿記帳簿の実施により、経営と家計の分離を行う
⑤ 農業従事の態様等の改善に関する現状と目標・措置	⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置
<p>労働時間少くなくし、農休日を導入するための課題と対策や目標を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父母の高齢化で労働力が低下、雇用を活用し労働時間の削減を図る ・収穫・出荷などの農繁期における臨時雇用の確保 ・作業環境の改善による野作業の快適化 ・大型機械導入や機械化などによる省力化 ・作業状況により休んでいるが、今後休日制を導入する ・家族経営協定に基づく家族間の役割分担を明確にする 	<p>経営規模の拡大方法や経営の改善に関する課題や対策等を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会への申出・斡旋を利用し、農地の取得・借地する ・高齢化した農地を借地する ・臨時雇用の技術向上を促し、栽培管理の徹底を図る ・漬物等加工製品の充実と拡大に努めるとともに直販経路を拡大する